



## 6年生 卒業プロジェクト

先週の金曜日(15日)、6年生は総合的な学習の時間で取り組んでいる卒業プロジェクトの中の一つの課題に取り組んでいました。「むらさき公園清掃活動」「第2運動場清掃活動」「校庭ベンチ色塗り」の3つのコースに分かれて活動していました。むらさき公園を見に行くと、公園の中の草取りや周囲の低木の下のごみ拾いなど、一生懸命に掃除してくれました。公園の清掃をしていた子供は、「いつもお世話になっている人への感謝の思いでやっています。小さい子供たちも遊んでいる場所なのできれいにしたいと思います。」と清掃への思いを語ってくれました。また、第2運動場の子供は、「ここは育成クラブの子供たちも遊ぶ場所なので、使いやすいうようにきれいにしておきたいです。ぼくもここで遊んでいました。」としみじみと語っていました。そして、ベンチの色塗りをしていた子供は、「ここを下級生のみんなの癒しの場所にして欲しいです。そして、私たちのことを忘れて欲しいと思います。」と語っていました。6年生卒業プロジェクトは、学校や地域のための行動として、本当に尊いものだ実感しました。全国の小学校一年生は、大体どこの姿も同じなのですが、このように自己有用感を身に付けた6年生の姿は、大きくその姿が違ってきます。帯西の子供たちは、「誰かのために」と6年間その思いを醸成しながら成長し、自ら考えて行動できるようになる自慢の子供たちなのです。



## 円周率の日

先週14日のお昼の放送を聴いていると、「今日は円周率の日」と言っていました。そうなんだと思って調べてみると、「3月14日は、多くの国で『3-14』の順に(特にドイツなどでは「3.14」と)表記され、円周率の小数表記『3.141592...』の上3桁に一致する。通常はこの日の1時59分か15時9分にこの日を祝う。この2つの時刻は数字で表記するとそれぞれ「1:59」と「15:9」であり、日付の「3.14」と併せて円周率の最初の6桁を表している。」とありました。因みにこの日はドイツ生まれの理論物理学者アルベルト・アインシュタインの誕生日であり、日本では1997年(平成9年)に公益財団法人・日本数学検定協会により「数学の日」に制定されているそうです。



歴史を遡ること約4000年前、円周率の歴史は紀元前2000年ごろの古代バビロニアでバビロニア人やエジプト人の計算から始まり、古代ギリシャの数学者アルキメデスが初めて計算で円周率を導き出しました。その後、円周率は、建築や天文学の分野、及び円とは関係がなさそうな分野も含めて、ありとあらゆる数学や自然科学の数式の中に顔を出し、実に神秘的で永遠に続く数として人々を魅了し続けています。